

第65回 日本PTA全国研究大会 仙台大会 参加報告書

富士市PTA連絡協議会

副会長 上野英樹

第65回日本PTA全国研究大会仙台大会に参加いたしました。

今大会のスローガンは、『つながろうPTA！ 子どもたちの輝く未来のために ～杜の都発！ みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～』でした。

はじめての仙台でしたが市内ではあまり震災の影響は感じられませんでした。

1日目は第4分科会広報活動に参加しまして、どのようにしてPTA活動の魅力を伝えるのかが研究課題でした。

最近ではPTAのあり方についてテレビなどでも取り上げられ様々な意見がでています。

PTA活動がどのような役割をはたしているのか、どんなコトが子供のためになっているのかなどより理解を深めてもらえるように情報発信をしていくことが大きな課題になっています。

基調講演では今年度から小学校のPTA活動に参加している女優の酒井美紀氏のいろいろなエピソードを聞くことができました。様々なボランティア活動に参加しより多くの知識を得て自身の子育てにいかし、よりよい教育環境を提供する支援などを行っているとのことでした。

2日目はカメイアリーナ仙台で全大会が行われました。

いろいろなアトラクションが行われ、記念講演ではウエイトリフティングメダリストの三宅宏実、義行氏が家族の絆で掴んだ父娘メダルを演題にオリンピックに挑戦する親子での取り組みを聞くことができました。

二日間を通して子育て世代の家庭を取り巻く環境、急速な情報化社会への対応、学校の教育環境など多くの課題があることを実感しました。

今まで以上にPTA活動のよりよい情報を発信し子育ての環境をつくっていく必要があるのではないかと感じる2日間でした。